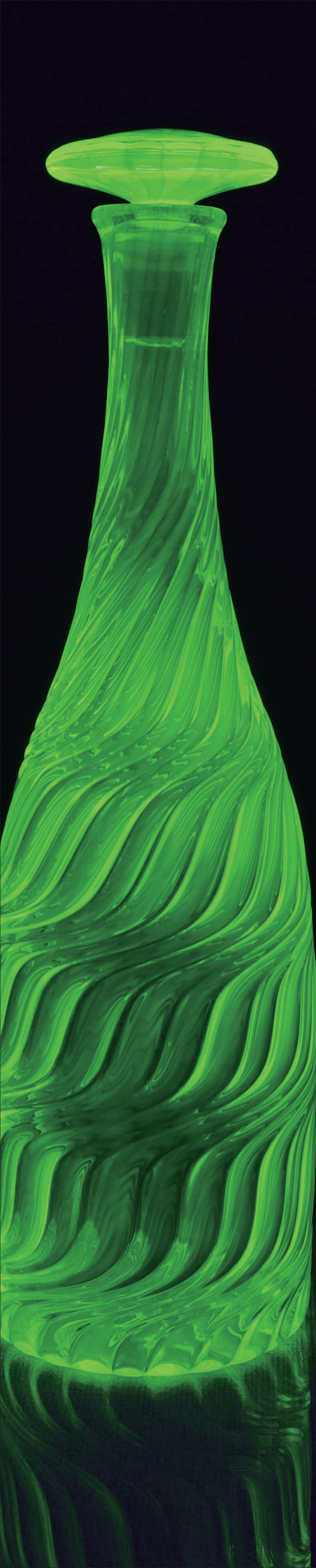




Refrain



加倉井秀昭 ガラス造形展

2023.4/5(水) → 7/3(月)



妖精の森 ガラス美術館
Fairywood Glass Museum



かくらい ひであき
加倉井 秀昭

1998 東京ガラス工芸研究所 卒業
1998～2000 福井県 金津創作の森工スラガラススタジオ勤務
2000～ ガラス制作請け負い業「ギャファー」として活動開始
2004～2006 岡山県 倉敷芸術科学大学ガラスコース 教務補助
2006～2011 日本装飾美術学校ガラス工房 主任講師
2007～ 女子美術大学 非常勤講師
2015 長野県富士見町にガラス工房「Scratch & Noise」設立

Refrain

加倉井秀昭ガラス造形展

妖精の森ガラス美術館令和5年春期展覧会は長野県で工房を運営されているガラス作家加倉井秀昭さんの展覧会を開催いたします。

加倉井さんは吹きガラスのひとつ「ケーンワーク」という技法を主に使って作品制作をされています。ケーンワークは色ガラス棒を組み合わせて様々な模様や装飾を表現することができる技法で、イタリア発祥の「レースガラス」と呼ばれる作品もケーンワークの種類のひとつです。

現代ガラス工芸においては各分野で伝統的な技法をアレンジし、独自の表現方法を確立するガラス作家がいる中で、加倉井さんはバーナーワーク技法の「スイッチバック」という模様の表現方法を吹きガラスで再現制作しています。加倉井さんは更にそこから着眼点を得た作品を「Refrain (ルフラン)」と名付けて独自の表現方法を模索しています。

吹きガラス技法は紀元前1世紀頃に東地中海で発明され、基本的な作り方は古代ローマの時代から現代までほとんど変わっていません。古くから伝わる伝統的な物事を尊重し、学び、そこから平和的に新しい方法を見出して次へとチャレンジしていく姿勢は現代作家だけではなく、すべての人々に今まさに必要なことであると言えるかもしれません。

作家の挑戦と、そこから垣間見える少し先の未来に想いを馳せながらご高覧いただけると幸いです。



Fairywood Glass Museum

妖精の森ガラス美術館

[開館] 9:30～17:00 (入館は16:30まで)

[休館日] 火曜日

[入館料]

	個人	団体
大人・大学生	500円	400円
高校生	400円	300円
小学・中学生	300円	200円

● 団体は20名以上
● 小学生未満無料

岡山県苫田郡鏡野町上齋原666-5

TEL 0868-44-7888 FAX 0868-44-7889

<https://fairywood.jp/>



新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください。



検温



マスク着用



手指の消毒



ソーシャル
ディスタンス

